

下呂市エコツーリズム推進全体構想 改訂の概要

改訂の目的

・下呂市は日本三名泉「下呂温泉」を有し、全国から訪れる年間 100 万人の観光客に地域の魅力を伝えながら、市内全域への波及をエコツーリズムの推進により持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

・観光産業による経済波及効果の創出と観光資源の保全による持続的な利用の両立を目指し、エコツーリズムの推進に取り組み、平成 30（2018）年には「下呂市エコツーリズム推進全体構想」がエコツーリズム推進法（平成 19 年法律第 105 号）に基づく認定を受けた。

・下呂市エコツーリズム推進協議会の事務局を担う（一社）下呂温泉観光協会は、国から先駆的 DMO に選定（2023 年 3 月 28 日、観光庁）されており、様々なステークホルダーへの情報共有や合意形成、データを重視した観光地マネジメント・誘客事業を先進的に実施している。これによりエコツーリズムの取り組みも DMO で共有され、サステナブルツーリズムへの取り組みやエコツアー商品等の誘客販売の仕組みが構築されている。

・新型コロナウイルスによるパンデミックを経て、観光を取り巻く状況は大きく変化しており、次なる資源の掘り起こしや新たな受入体制の構築に向けて全体構想を見直し、一部を修正する。

主な見直しの視点

・新型コロナウイルスの収束により、宿泊者数は 9 割程度まで回復したが、国内旅行者の個人化が著しく、様々なニーズへの対応が必要となるため、対象となる自然観光資源を拡充する。また、それに伴い関係機関等も見直すものである。

新たに追加された主な自然観光資源

・動植物

細区分「その他の無脊椎動物」を追加した。下呂市合併時には既に絶滅したものと考えられていたカワシンジュガイが後に再発見され、清流と生物多様性を象徴する生物として保護しながら活用する方法を模索する。それに伴い協議会の参加主体に「岐阜県水産研究所下呂支所」を追加した。

・動植物の生息地・生育地

細区分「山」の欄に下呂富士を追加した。下呂温泉街からほど近く、気軽に登れる低山であり、環境保全グループが遊歩道の維持活動を行っている。

- ・自然環境と関係を有するその他の資源

細区分「史跡・遺跡」に桜洞城跡、檜尾山城跡を追加した。岐阜県には岐阜城をはじめとした戦国武将の城跡や関ヶ原等の有名な古戦場があり、戦国時代の歴史的資源を積極的に活用して誘客を行っている。下呂市においても三木氏が築いた山城等の遺構があり、保護と活用の検討が行われている。

また、細区分「食文化」を追加し、下呂市の初夏の味である「朴葉寿司」を記載した。一般社団法人下呂温泉観光協会は、朴葉寿司について調査を行い、文化庁の「100 年フード」に認定された。

新たに追加するエコツアー

- ・笹洞瑠石鉱山ミネラルハンティングガイドツアー

新たに追加する主な法令及び計画

- ・下呂市森林づくり基本計画

その他

- ・自然観光資源等の位置図を追加した。